

# 今江まさひこ

ご意見をお寄せください

事務所

〒523-0837  
近江八幡市大杉町30番地1  
TEL (0748)36-5788  
FAX (0748)36-5794  
http://www.m-imaie.com



## 「いきいき働き、いきいき暮らす、元気な滋賀」の実現をめざして



### プロフィール

1954年6月29日生まれ(満56歳)  
県立彦根東高等学校、同志社大学法学部を卒業後、近江八幡市職員となり、議会事務局次長、秘書広報課長を歴任。  
2007年4月滋賀県議会議員に初当選。  
現在、滋賀県議会総務・政策常任委員長を務める。

2月定例県議会が開会し、「**住み心地日本一の滋賀**」の実現をめざした新年度予算の審議が始まりました。

「人の力」「自然の力」「地と知の力」を活かした重点項目のうち、**子育て支援・中小企業の振興・地域医療再生**を特に大きなテーマとして今後取り組んでいきたいと思っております。

県議会の開会に先立ち、子育て支援事業について嘉田由紀子知事、徳永久志参議院議員とともに地域の女性を交えて意見交換をしました。



国の進める子育て支援策について、その意義を説明する徳永参議院議員。



嘉田知事は

育児疲れや育児不安を抱えた保護者の方々が保育所等の一時預かりを必要な時に利用できるように新たに実施される「**ほっと安心子育て支援事業**」について熱い思いを語られ、徳永参議院議員からは社会全体で子育てを支援する子ども手当や高校無償化などの制度の意義について述べられました。

子育て支援策としては保育所の待機児童の解消、学童保育所の整備、子ども手当、高校無償化、私学助成の充実などの手立てがありますが、今回知事が提案された「**ほっと安心子育て支援事業**」は児童虐待の防止策となり、また、日の当たらないところに日を当てる政策として私も注目しています。

自らの子育て体験を踏まえて「ほっと安心子育て支援事業」について熱く語る嘉田知事。

## 今江まさひこ 7つのお約束 元気滋賀復活宣言!

「7つの視点」で元気な滋賀の復活をめざすために、私は、これまでの4年間の本会議や予算特別委員会で次の通り質問をしました。

### 1 経済・雇用対策の推進

水環境ビジネスや滋賀の歴史や文化を活かした観光振興、中小企業振興条例の制定などにより滋賀の経済を発展させるとともに、若年層の就労支援体制を確立することが必要です。

また、平成23年度から畑作も含めて本格実施される農家の戸別所得補償制度を活用しながら地産地消や食育を進め滋賀の農業を守ります。

#### 【質問項目】

- 男女共同参画社会の推進について(2008年2月定例会)
- 環境こだわり米の販路拡大について(2008年環境・農水常任委員会)
- 多文化共生社会の推進について(2009年2月予算特別委員会)
- 経済・雇用対策について(2009年9月定例会代表質問)
- 公契約条例について(2009年11月定例会)
- 観光行政費について(2011年3月予算特別委員会)

### 2 子育て環境や教育環境の充実

待機児童の解消、学童保育の推進、子ども医療費の負担軽減により子育て環境を整備するとともに少人数学級の拡大や私学振興で教育環境を充実します。

#### 【質問項目】

- 私学助成について(2008年9月定例会)
- 子育て支援について(2009年9月定例会代表質問)
- 高校実質無償化について(2010年2月予算特別委員会)

### 3 医療・福祉・介護の充実

医師・看護師の確保、介護労働者の労働条件整備、認知症対策や障がい者福祉の充実により福祉のまちづくりを推進します。

#### 【質問項目】

- 生活保護制度について(2007年6月定例会)
- 障がい者福祉施設の東近江圏域における基盤整備について(2007年9月定例会)
- 公立病院改革について(2007年12月定例会)
- 滋賀県保健医療計画について(2008年6月定例会)
- 地域医療再生計画について(2010年9月定例会)
- 介護保険制度を取り巻く課題について(2010年11月定例会)
- 母子医療対策費について(2011年3月予算特別委員会)

### 4 環境政策の推進

琵琶湖の水質保全対策の確立や産廃特措法の延長、造林公社の債務問題など滋賀県独自の環境問題の解決に努めます。

#### 【質問項目】

- 地球温暖化対策について(2009年9月定例会代表質問)
- 造林公社問題について(2009年9月定例会代表質問)
- RD最終処分場問題について(2009年9月定例会代表質問)
- 内湖の復元について(2010年9月定例会)

### 5 安心安全のまちづくり

防災危機管理体制の整備、流域治水政策や地域交通政策の充実、地域防犯活動の支援などにより安心安全のまちづくりを進めます。

#### 【質問項目】

- コンプライアンス制度について(2007年6月定例会)
- 原子力災害対策について(2008年6月定例会)
- 地域、家庭、学校における子どもの安全について(2009年6月定例会)
- 新型インフルエンザについて(2009年9月定例会)

### 6 ムダづかいをなくす

「滋賀県版の事業仕分け」の実施により、行政の無駄をなくします。

#### 【質問項目】

- 事業見直しや行財政改革について(2009年地方分権・行財政対策特別委員会)
- 外郭団体の見直し計画について(2009年12月定例会)

### 7 地域主権の確立と議会改革

国から地方への財源や権限の大胆な移譲を実現するとともに、議会基本条例を制定して県民にとってわかりやすい地方政治を進めます。

#### 【質問項目】

- 市町との連携と東近江振興局のあり方について(2008年9月定例会)
- 政権交代にあたっての知事の所感について(2009年9月定例会代表質問)

# 「住み心地日本」の滋賀の実現をめざして

2月定例会で提案された新年度予算では8項目の重点テーマが示され、その中で「働く場への橋架け」として女性の就職や社会活動の応援、障がいのある人の働く場や地域生活の充実、若者の就労支援のための予算が計上されています。

その中で、今回は女性の就労トータルサポート事業やその拠点となる男女共同参画センターのあり方について質問しました。

## 2月定例会一般質問から

### 男女共同参画社会の推進について

**Q** 滋賀県男女共同参画推進条例はその設置目的に沿って役割を果たしてきたか。

**A** 知事 この10年で条例に基づき、計画策定や配偶者暴力相談支援センター機能を持った総合的な拠点施設の充実整備、共同参画に関する広報活動や情報の提供、教育や学習の促進、県民等の活動に対する支援などを行ってきた。その結果、本県の男女の性別による固定的な役割分担意識にとらわれない人の割合は、平成14年度の意識調査では39.2%であったものが、直近の21年度調査では46.2%と増加しており、共同参画意識の浸透が図られてきたものと考えている。

**Q** 現計画の進捗状況および成果と新計画との違いは何か。

**A** 知事 現計画は、3つの重点取組テーマを設定し、戦略的な取組を展開してきた。1点目は「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の促進」、2点目は「女性の活躍支援」、3点目は「県民との協働による広報活動や教育・学習の推進」である。その中で、特に「仕事と生活の調和の促進」については、ワーク・ライフ・バランス推進企業登録数や家庭教育協力企業協定締結企業数について、目標がほぼ達成できる結果となっている。

**Q** 滋賀マザーズジョブステーションの現時点での組織や人員の見込みはどうか。

**A** 県民文化生活部長 滋賀マザーズジョブステーションは、働きたいと願う子育て中の女性が就職活動をスムーズにはじめていただくためのしくみとして、仕事と子育ての両立に向けたアドバイスや就職活動中の一時保育の実施、就労にいたるまでの個別の相談や職業紹介などをワンストップでできる窓口を男女共同参画センターに設



置するものです。子育て中の女性の場合、「自分の意欲や能力を活かせる仕事は何か」、「子育てと両立できるだろうか」、また「求職中の保育はどうしたらよいか」などの様々な不安や心配を抱えている。そういった相談にきめ細かく対応していくため、就業に関するカウンセリングや研修・訓練等の紹介、仕事と子育ての両立支援についてのアドバイスを行う「マザーズ就労支援相談」を設置し、総合受付窓口と併せ、3名の相談員を配置する予定です。

また、母子家庭の方への支援については、「母子家庭等就業・自立支援センター」を設置し、就業相談、就業意欲の形成や職業訓練の情報提供、求人の開拓などを行う就業支援員2名や、相談者の生活や子育て等、個々の状況に応じた自立のための支援プログラムを策定する策定員1名を配置する予定です。

それとともに、滋賀



滋賀マザーズジョブステーションの設置が予定され、近江八幡市での存続が決定された男女共同参画センター

### 障がいのある人の働く場や地域生活の場を充実

障がいのある人の就労、雇用の両ニーズのマッチングや職場定着、生活支援を行う体制を充実するとともに、障がい者のアート公募展開催などのアール・ブリュット推進事業が行われます。



アール・ブリュット推進事業の拠点となるポータル・アートミュージアム NOIMA(近江八幡市永原町)

### 若者の就職支援と失業者や退職者への職業訓練

若年求職者の支援体制の一本化による就職支援の充実を図る「(仮称)おうみ若者未来サポートセンター」を整備するとともに、ニート・フリーター対策としてカウンセリング、就労体験、訪問支援などを実施する予定です。



現在、概ね35歳未満の方に対して、職業相談などを行っているヤングジョブセンター(滋賀(大津市))

**Q** 女性の就労トータルサポート事業にともなう男女共同参画センターの機能や事業の充実について、知事の思いを伺う。

**A** 知事 女性の就労トータルサポート事業では「就職したい」との思いや「現在の仕事でキャリアアップしたい」という思いは、「起業したい、まちづくりなどの地域活動に参画したい」など女性のさまざまなニーズや願いに、柔軟に対応されるよう、スタッフの充実などが大変重要であり、きめ細かく支援していきたいと考えている。

この事業の実施により、従来参加の少なかった子育て中の母親など若い世代が、このセンターに集まることとなる。あわせて、男女共同参画センターが、このような自己実現をめざす女性の多様な生き方を応援し、女性の意欲と能力がいかにされる雇用の創出にも向け、活力あふれる社会づくりに貢献できる施設として、さらには、子育てと仕事が両立できることにより、子どもを生むという決意をする女性が増えてくれるような、そのような多面的な機能をより一層果たしていけるよう機能の充実に向けていきたいと考えている。